

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	商工課長 田邊 幹浩	
市民-17	重点事業	労働環境対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 商工課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	雇用支援の充実

1 事業の目的

対象	勤労者等
意図	勤労者の労働環境の向上を図るため。
効果	基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の充実を図りながら、雇用対策の充実を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。 ・雇用支援事業を実施し、就労促進を図った。 ・求職者向け就労支援事業を行った。 ・勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。 ・若者・女性の就労支援に向けた事業を行った。 ・市民と企業のマッチングのための企業面接会を開催した。 ・労政全般に係る庶務的業務を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,466人	176,308人	176,308人	人 口	176,436人		・各年3月31日(住民基本台帳)
	世 帯 数	81,150世帯	81,763世帯	81,763世帯	世 帯 数	82,444世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数			
	決算値(千円)	6,118	6,408	6,408	当初予算(千円)	6,272		
	国県支出金				国県支出金	150		
運営資源状況	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	6,118	6,408	6,408	一般財源	6,122		
	人員配置数	0.8	0.8	0.8	人員配置数	0.8		
	人件費(千円)	6,182	6,386	6,386	人件費(千円)	6,274		
事業経費運営	総事業費(千円)	12,300	12,794	12,794	総事業費(千円)	12,546		
	市民1人当りの経費(円)	70	73	73	市民1人当りの経費(円)	71		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー かまくら主婦's ネットワーク

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	専門家による「労働相談、メンタルヘルズ相談、就労困難若年者と家族の支援施策」は必要であるため継続して実施していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		また、平成29年度に実施した「市内の企業ニーズ調査」から得た資料を活用した「鎌倉の企業就職面接会」を平成30年度に実施したが令和元年(2019年)度も引き続き開催し、周知方法を更に検討し、参加者の増加を図る。		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	就労支援に係る事業は、近隣市や関連機関と緊密な連携をとり、社会情勢を見ながら必要な施策を実施していく。その一環として、市内企業と、求職者のマッチングを促進するため、平成29年度に実施した「市内の企業ニーズ調査」から得た資料を活用した「鎌倉の企業就職面接会」を、平成30年度に実施したが令和元年(2019年)度も引き続き開催し、周知方法を更に検討し、参加者の増加を図る。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	「企業が求める人材」を理解して就労につながるよう、就職対策セミナーや個別相談を専門職であるキャリアコンサルタントにより開催して就職支援を必要とする市民に就職機会を促進する必要がある。また、市内の企業が求めている人材と、求職者とのマッチングを促進する必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	専門職であるキャリアコンサルタントによる個別相談や就職対策セミナーを開催すると共に、就職機会を提供する求人情報の発信を続けた。また、平成29年度に実施した「市内企業ニーズ調査」をもとに、市内企業と、求職者のマッチングを目的とした「鎌倉の企業就職面接会」を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	就職対策セミナーは平成30年度に講座選択制を導入して開催形態を変更し、支援機会の増加に努めたが、31年度はさらに授業毎の入替時間短縮など見直しを行い、月1回に圧縮して、内容の質は維持したまま経費の節減を図る。平成29年度実施の「市内企業ニーズ調査」から得た資料を活用した「鎌倉の企業就職面接会」を平成30年度に実施したが31年度も引き続き開催し、周知方法を更に検討し、参加者の増加を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	労働動態調査を実施している自治体									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

比較事項	就職対策セミナーを実施している自治体									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	労働動態調査の実施については、実施している市がまれである。調査票の発送から集計まで労力を要する事務であるが、過去からのデータの蓄積がされており、今後も行政資料として継続して作成していく。就職対策セミナーについては、各市バラつきがあるが、ハローワーク藤沢管内の市については全て実施しており、就職面接会も合同で開催していることから引き続き実施していく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	湘南合同就職面接会参加者数						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	うち 鎌倉市民 H30(8人)			
ハローワーク藤沢管内の自治体が合同で行う就職面接会であり、就職に直接結びつく事業であるため。	目標値	159	159	159	159	159	159				
	実績値	63	123	87	75	63					
	達成率	39.6%	77.4%	54.7%	47.2%	39.6%					

指標の内容	障害者合同面接会の採用者率						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	採用された人数で障害者雇用促進の状況を推し量ることができるため			
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0				
	実績値	6.3	8.9	2.8	9.6	10.1					
	達成率	90.0%	127.1%	40.0%	137.1%	144.3%					

指標の内容	「鎌倉の企業就職面接会」の参加人数						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は29年度湘南合同就職面接会(3市1町)の参加人数5人の4倍			
鎌倉で働きたい市民の意向を推し量ることが出来ると共に就職率の向上に寄与するため。	目標値	-	-	-	-	20人	20人				
	実績値	-	-	-	-	15人					
	達成率	-	-	-	-	75.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	湘南合同就職面接会の29年度の参加人数は、28年度に比べると減少している。公共職業安定所が公表している藤沢管内求人倍率が(27年3月)0.86、(28年3月)0.87、(29年3月)1.00、(30年2月)1.04、(31年2月)1.19と上昇傾向にあるため、その影響もあると思われる。指標は、経済状況と求人状況に大きく影響されるため、今しばらくは推移を注視していく。
-----------------------	--